

しまねのコト、原子力のコト

アトム の 広 場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION



Photo: 断層でブロック状にずれた地層

No.
134
2022.6

シリーズ | 見つけよう、しまねのコト。

国引き神話—島根半島のなりたち

特集 放射性物質放出後の避難退域時検査

島根原子力発電所周辺 | 環境放射線等調査結果

環境への影響は認められませんでした。

【コラム】島根半島の海岸地形

30km Area

SHIMANE

島根半島

国引き神話 —— 島根半島のなりたち

シリーズ「見つけよう、しまねのコト。」では、身近にあるけれど普段意識しづらい身の回りの場所・モノ・行事・風習などを取り上げ、その歴史や文化をご紹介します。



大黒山から見た出雲平野、宍道湖の向こうに島根半島が横たわる



おりたえ 折絶を境界とした4エリア



かか くだ 加賀の潜戸



美保関灯台の門扉には、島根半島がユーラシア大陸に近かった当時の堆積岩が使われている



築島の岩脈

国引き神話をほうふつとさせる島根半島のなりたち

天平5年(733年)に成立した『出雲国風土記』の冒頭には、「国引き神話」と呼ばれる記述があります。八束水臣津野命が「八雲立つ出雲の国は、幅の狭い布のような幼い国であるよ」と言い、「国来、国来」と海の向こうから余った土地を引っ張ってきたというものです。土地をつなぎ止めるために立てた杭が三瓶山と大山、引いた綱は蘭の長浜と弓ヶ浜半島であるとされ、縫いつけられた土地は現在の島根半島にあたります。

いっけん荒唐無稽に思える物語ですが、実は島根半島のなりたちは「国引き神話」からそう大きく外れていません。約2000万年前、日本列島の西南部分は

ユーラシア大陸の東端に位置していました。それが地殻変動によって大陸から分離し始め、間に現在の日本海が形成されていきます。およそ1500万年前、日本列島が今の位置になった頃、南側のフィリピン海プレートが西南日本の下に沈み込むようになり、中国山地が陸化します。島根半島はまだ深い海の底でしたが、陸上の火山から大量の噴出物が流れ込み、海底でも火山が噴火を続けます。そして約1000万年前になると、島根半島を含む一帯が隆起していききました。

大規模な地殻変動によって生まれた島根半島は、まさに海の向こうからやってきた土地だったのです。

しゅうきょく 褶曲、断層、侵食がもたらした島根半島の多様な地形

7000年前頃の縄文時代、海面が上昇して島根半島の南側のくぼ地は海になりました。その後、三瓶山の火山活動の噴出物が流れ込むことで出雲平野が形成され、宍道湖が姿を現します。その際、島根半島は防波堤の役割を果たしました。稲作を始めた古代の人々は自然に感謝と崇敬の念を抱き、そこから出雲の神々の物語が生まれてきたのです。

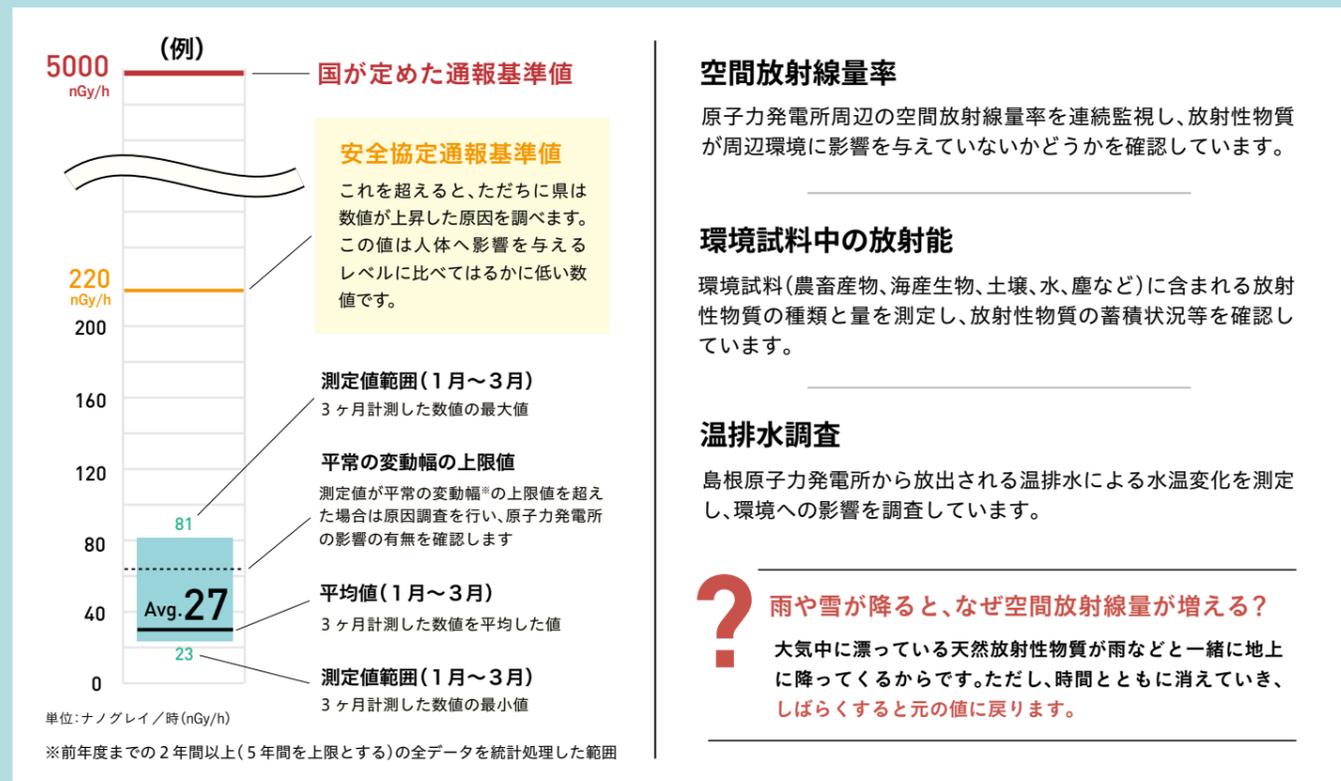
『出雲国風土記』では、八束水臣津野命が4回に分けて国引きを行ったとされており、4つの国の境目を「折絶」と記しています。折絶は、しゅうきょく 褶曲や断層、侵食によってできた地形の窪みですが、島根半島にはこれが3カ所あるため、4つの国に分かれているよ

うに見えたのでしょうか。古代人の観察眼に驚かされます。唯浦港には、しゅうきょく 褶曲のために曲がった地層の表れた三角岩がありますし、小泉八雲を魅了したかか くだの潜戸は、断層ができたことで脆くなった部分が、波に侵食されてできたものです。ほかにも貴重な地層や岩石などが数多くあり、同時に美しい景観を持つ一帯は、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」として認定されています。

「日本海と島根半島の地層のストーリーはよく似ている。日本海のなりたちを知る上でも、島根半島は重要なんですよ」と、ジオパーク専門員の野村律夫さんは話します。

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

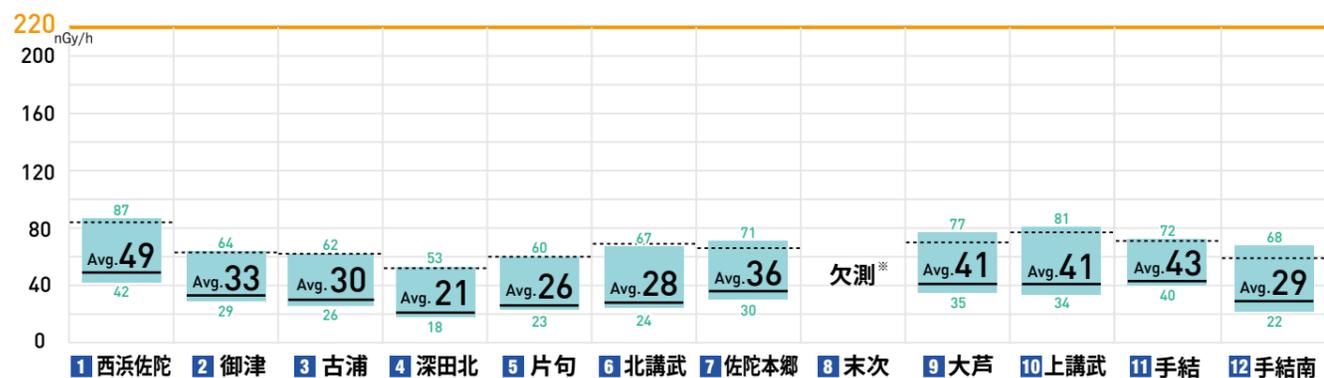
今期の調査結果を検討・評価したところ、
島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



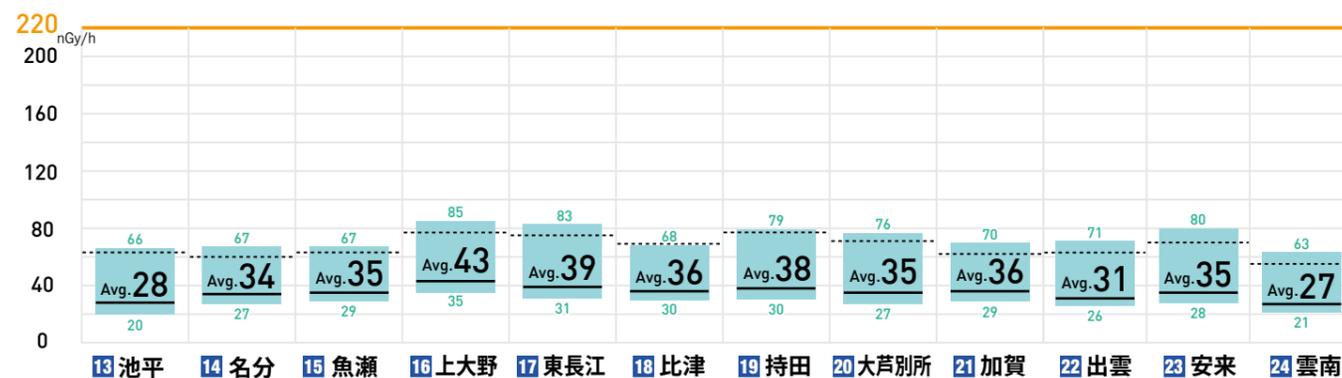
空間放射線量率

2022年1月～3月

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



○3ヶ月間の測定値における最高値と最低値を表記しています。○平均値(1～3月)は各月の平均値を平均したものです。○測量地点の番号と名称は上記MAPと連動しています。
※8末次は、松江役所の建て替え工事に伴い、しばらくの間、欠測になります。なお、工事期間中は可搬型モニタリングポストで測定を行っています。



環境試料中の放射能

2022年1月～3月

平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

●分析結果

測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅
浮遊塵	μBq/m ³	検出されず	検出されず
さざえ	Bq/kg(生)	検出されず～0.03	検出されず～0.04
なまこ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
岩のり	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず

測定試料	単位	測定結果(ヨウ素131)	平常の変動幅
原乳	Bq/ℓ	検出されず	検出されず

測定試料	単位	測定結果(トリチウム)	平常の変動幅
大気水	mBq/m ³	2.0～4.5	検出されず～9.6
海水	Bq/ℓ	0.45～0.69	検出されず～0.68

測定試料	単位	測定結果(ストロンチウム90)	平常の変動幅
水道原水	mBq/ℓ	1.4	1.5
ほうれん草	Bq/kg(生)	0.07	0.04～0.16
原乳	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.02

※セシウム137以外の対象核種(54Mn, 59Fe, 58Co, 60Co)については、検出されませんでした。
※「平常の変動幅」は平成21年～22年度及び平成25～令和2年度の10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

温排水調査結果

2022年1月～3月

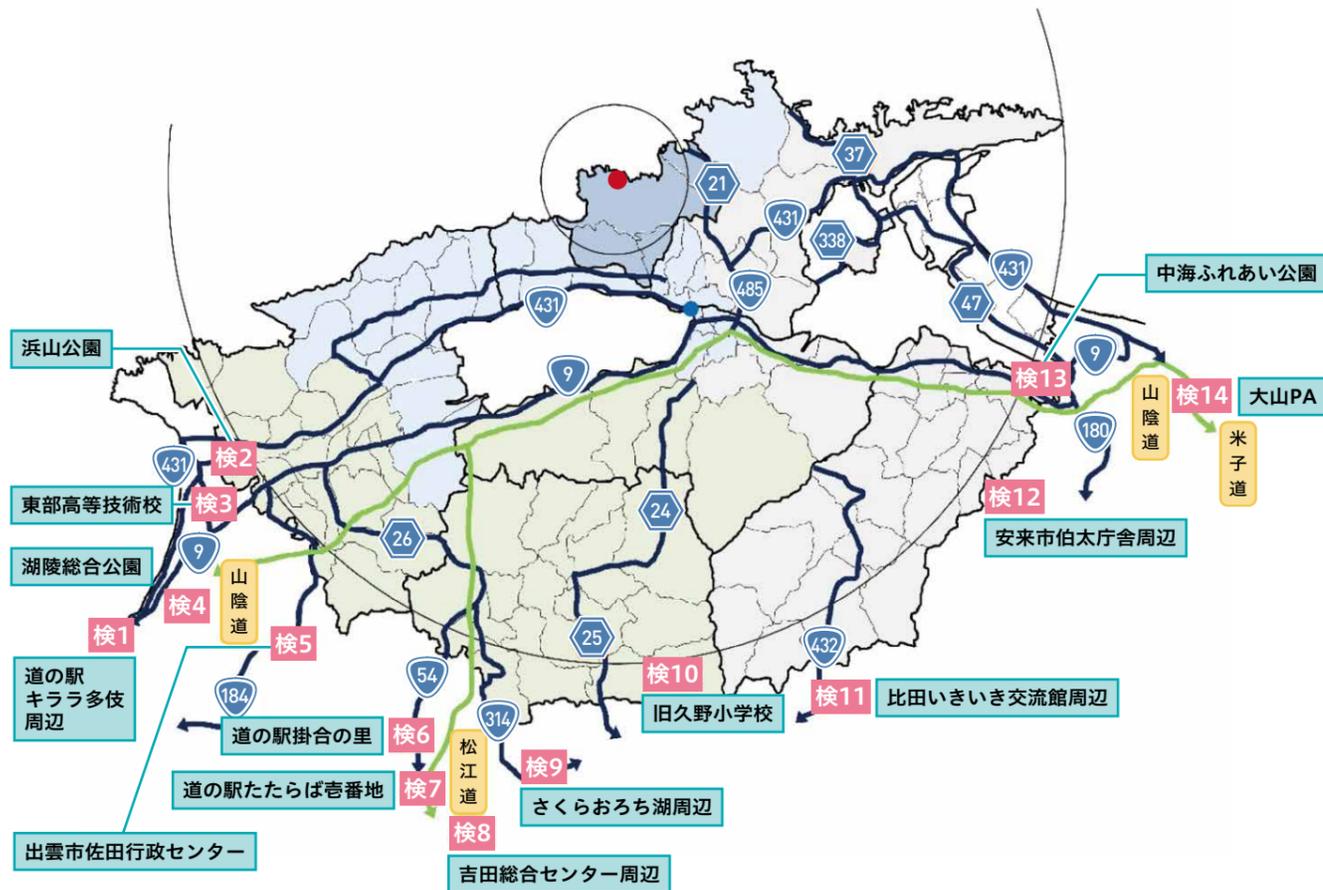
今期の調査結果を検討・評価したところ、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

期間中、1～3号機とも原子炉の稼動に伴う温排水の放出はありませんが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

放射性物質放出後の 避難退域時 検査

避難退域時検査会場

避難退域時検査は、避難経路周辺の14か所を候補地としています。
会場が地震や建物倒壊などによって使用できない場合、候補地以外で開設する場合があります。



お住まいの地区の避難ルート・避難経路所・避難退域時検査会場は
島根県避難ルートマップで確認することができます。

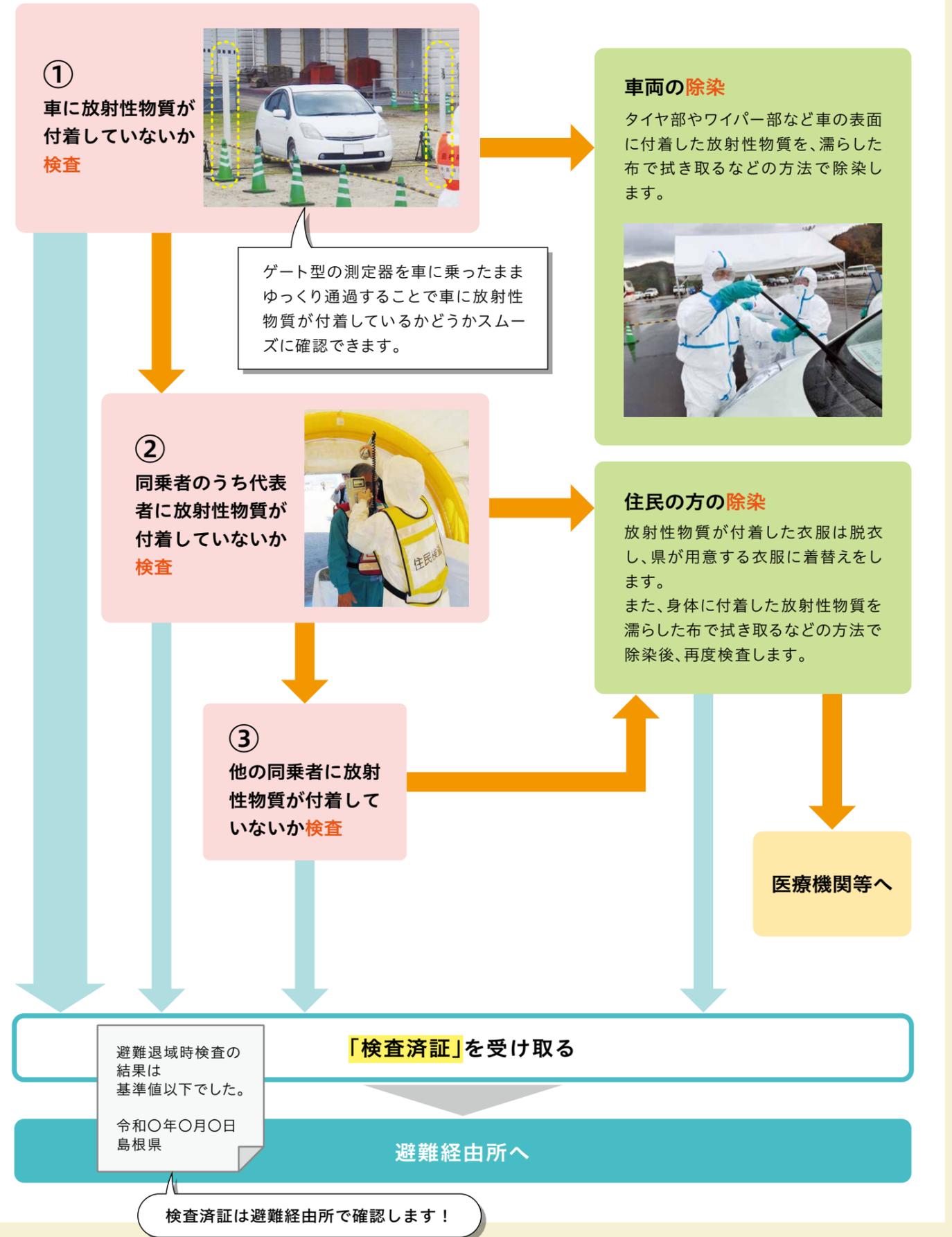
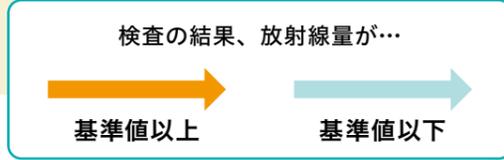


今回は、万が一放射性物質が放出され、避難指示があった場合、避難する方全員に受けていただく必要のある「避難退域時検査」について特集します。

検査を受けると、検査結果を記載した「検査済証」が配布されます。検査済証は、避難所に行く前に立ち寄る避難経路所などで確認しますので、大切に保管してください。

※原発から5 km圏内(PAZ)の方は放射性物質放出前に避難するため、避難退域時検査は原則実施しません。

避難退域時検査の流れ



第8回 ● 島根半島の海岸地形

Q. 島根半島の特徴的な海岸地形は、どうやって作られたの？

日本列島ができたときの地殻変動や、波の浸食作用によって現在の形になりました。地殻変動の痕跡は、現在も各所で確認できます。

現在の日本列島の地下にある大陸や海洋プレートは、遥か昔から絶え間なく動き続けており、プレート同士がぶつかり合って押し上げられると、地盤が盛り上がって陸地を作ったり、陸地の一部が移動したりします。現在の日本列島は、こうした地殻変動が何億年も繰り返されることで形成されました。

陸地が移動するくらいの大きな力がかかると、固い地層でも鉛のように曲がってしまいます。例えば、出雲市小伊津町の小伊津海岸の辺りは元々海の中にありましたが、激しい地殻変動によって深海にあった砂岩と泥岩の地層が海面上に現れ、さらに波の浸食作用で地層が削られることで、現在のような磯（波食棚）が形成されました。また、出雲市美保町の唯浦では、地殻変動によって地層が変形・直立した様子を直に見ることができます。

島根半島の海岸線ではこのように、曲がった地層や切断された断層、地層が傾く現象など、日本列島ができたときの活発な地殻変動の痕跡を各所で確認できます。

なお、地震活動による地層の盛り上がり（隆起）が起きた地域で形成された波食棚には、その分布や海面からの高さに規則性があるほか、周期的な地震（地盤のずれ）に伴って階段状の地形ができたり、波が到達しない範囲に確認されたりするなどの特徴があります。しかし、島根半島の波食棚はこれらの特徴が認められていません。このため、島根半島の波食棚は、地震活動ではなく波浪等の影響によって形成されたと考えられています。



小伊津海岸の洗濯岩(出典:島根半島・宍道湖中海ジオパークHP(ジオサイト))



唯浦の直立層(出典:島根半島・宍道湖中海ジオパークHP(ジオサイト))

[お知らせ]

令和4年度 第2回 **参加無料** **昼食付き**

原子力関連施設見学会

参加者募集

県内の原子力関連施設(島根県原子力防災センター、島根県原子力環境センター、島根原子力発電所)の見学会を開催します。

●開催日時 令和4年7月29日(金) 9:00 ~ 15:50

●応募締切 令和4年7月13日(水) 必着

●募集人員 25名(申込多数の場合は抽選)

●応募方法 連絡先等の必要事項を記載の上、ハガキ、FAXまたは電話でご応募いただくか、「アトムの広場」Webサイトの専用応募フォームよりご応募ください。

●応募先 島根県原子力安全対策課 見学会担当
ページ下の連絡先までご応募ください。

◎必要事項

参加を希望されるすべての方の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、本人確認書類の種類(以下参照)

【本人確認書類】次の①~④の中から1種類お選びください。

- ①運転免許証 ②パスポート ③写真付きマイナンバーカード
④その他の公的書類(A~Cのうち、2つが必要です。例:住民票+健康保険証)
A:住民票(6カ月以内) B:健康保険証 C:年金手帳

※上記以外の本人確認書類についてはお問い合わせください。

※応募内容の個人情報は、見学会の目的外に使用することはありません。

しまねのコト、原子力のコト

アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せください。

NEW!

アトムの広場
Webサイト



<https://atomnohiroba.jp>

編集・発行 島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL (0852)22-6059(代表) FAX (0852)22-5600

TEL (0852)22-6075(見学会担当)

URL <https://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

2022年6月発行 ※令和4年度広報・調査等交付金等事業により作成しました。松江、出雲、安来、雲南の4市では、各世帯に配布しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この印刷物は環境に優しいベジタブルインキを使用しています。